

# 令和7年度 景気動向アンケート調査集計(R7年7月～9月)

## 1. 調査の概要

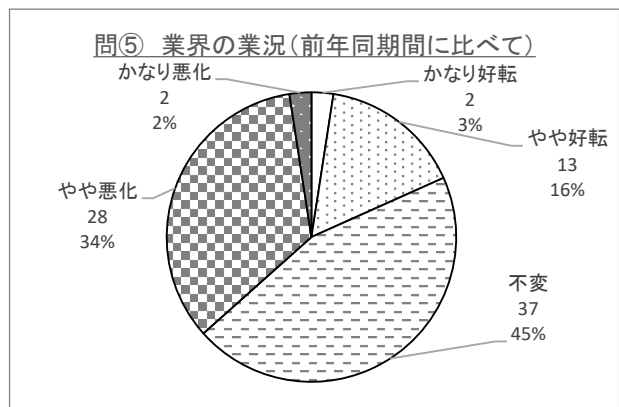
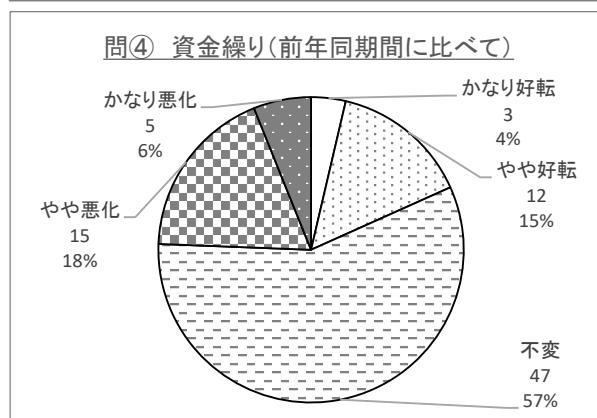
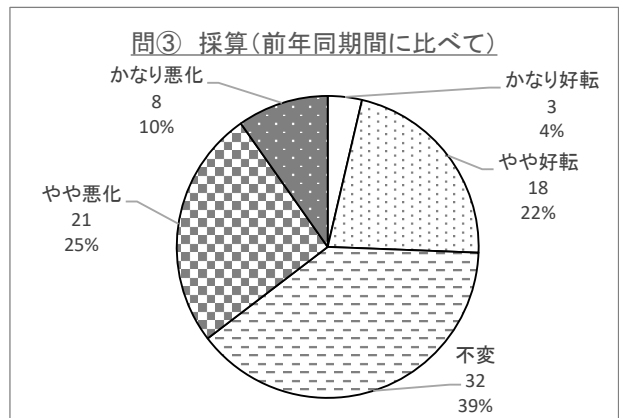
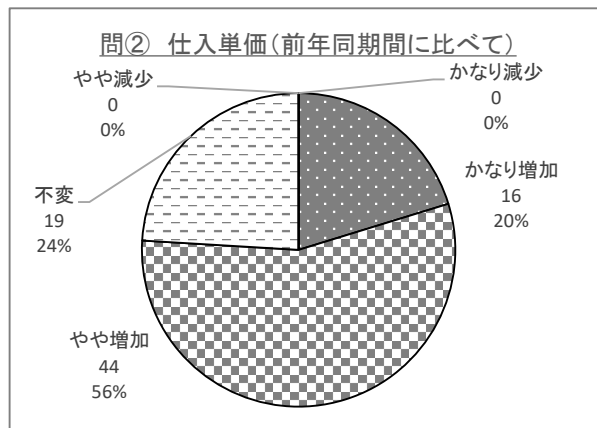
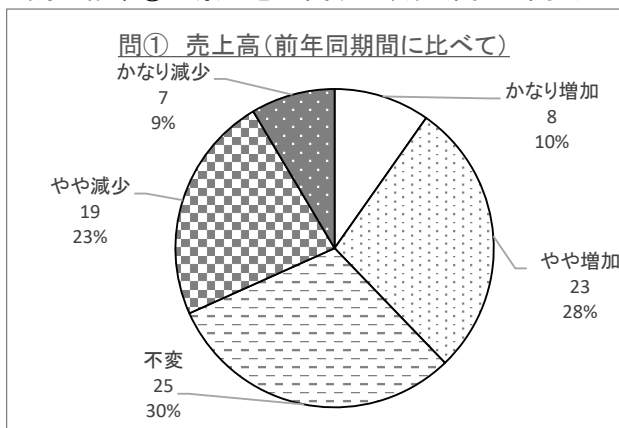
調査目的： 第3期春日市商工会経営発達支援計画（令和5年3月認定）に基づき、会員事業者の景気動向を調査し、地域中小企業の状況を的確に把握した効果的な経営支援を実施すること、また、地域ニーズに応じた地域活性化事業検討の参考とすることを目的とする。

調査方法： 連絡手段がメールとFAXで登録されている会員事業者を対象に調査を依頼。

実施期間： 令和7年10月22日～令和7年11月4日

回答数： 82事業者

## 2. 調査結果①…景況感に関する項目(問1～問5)



	かなり増加	やや増加	不変	やや減少	かなり減少	D.I
①売上高	8	23	25	19	7	6%
②仕入単価	16	44	19	0	0	76%

	かなり好転	やや好転	不変	やや悪化	かなり悪化	D.I
③採算	3	18	32	21	8	-10%
④資金繰り	3	12	47	15	5	-6%
⑤業界の業況	2	13	37	28	2	-18%

### 【D.I】

企業の業況感などの判断を指数化したもの。各設問につき5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答者数を集計し、全回答者数に対する構成比を算出した後、次式により算出する。

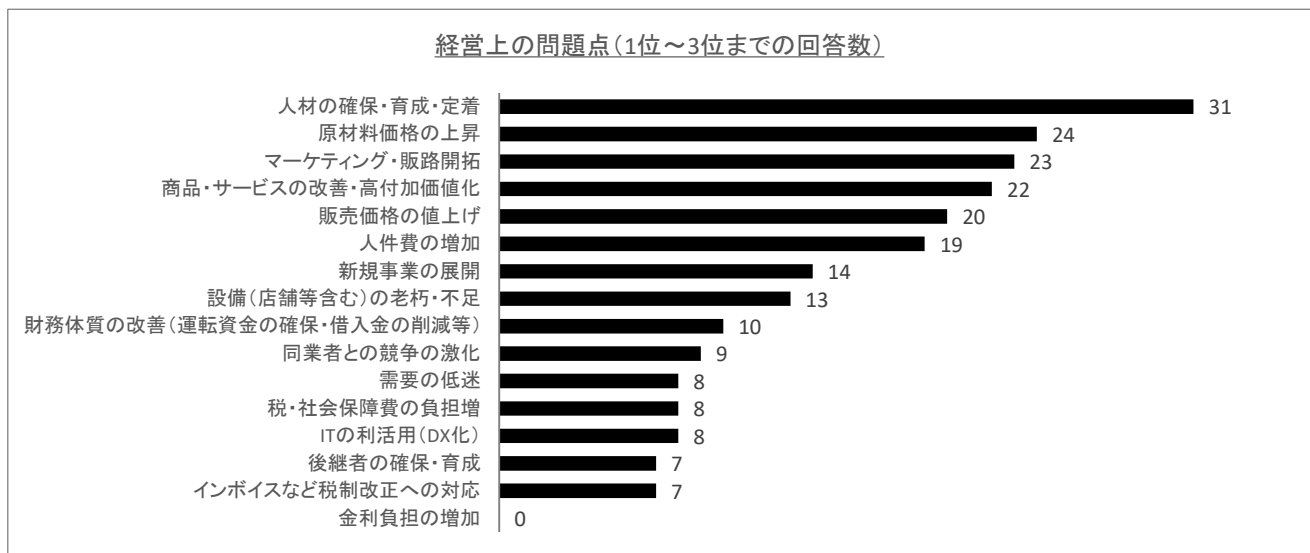
D.I=「選択肢(かなり増加)の構成比+選択肢(やや増加)の構成比」-「選択肢(やや減少)の構成比+選択肢(かなり減少)の構成比」

- 売上高について、前回調査結果では41%の事業者が増加したと回答していたが、今回は38%となり、-3ポイントとなった。D.I値は前回調査結果から-6ポイントとなった。
- 仕入単価は前回調査結果で増加割合が73%であったのに対し、今回は76%となり、+3ポイントとなった。依然として高水準であり、多くの事業者が仕入コスト増大に直面している状況は変わらない。
- 採算については、前回調査結果ではD.I値が9%とプラスに転じていたが、今回は-10%となった。原材料価格の上昇・販売価格の値上げ等の経営課題が深刻化していることが窺える。
- 業界の業況に関しては、前回調査結果でのD.I値が-25%であったのに対し、今回は-18%となり、+7ポイントとなった。好転したと感じる事業者の割合が若干増加したが、悪化と回答する事業者の割合が多い状況に変わらない。

### 3. 調査結果②…経営課題に関する項目(問6)



- ☑ 今回も「人材の確保・育成・定着」が最も多く選ばれている経営上の問題点となっている。また、多くの企業が原材料価格や人件費のコスト上昇や人手不足に苦労しながら、販路開拓や財務体質の改善等への対応を模索しており、先行きの不透明感とともに、現状の厳しさが窺える。



- ☑ 「人材の確保・育成・定着」が最も多く選択されており、事業者が人材の確保・育成・定着に大きな課題を抱えている状況である。次いで「原材料価格の上昇」や「販売価格の値上げ」など、コスト増加への対応が大きな問題となっている。また、「マーケティング・販路開拓」や「商品・サービスの改善・高付加価値化」も多く挙げられており、市場環境の変化に対応しようとする意識が強いことが示唆される。全体として、人的資源の課題とコスト増、並びに事業変革への意欲が、複合的な経営課題を形成している状況である。